





99人の子どもの教育に成功しても、1人の子どもの指導に失敗すれば、その教育は問題といわねばならないでしょう。

こうした角度から近年、国をはじめ県や市においても、ハンディをもった子どもたちの教育について、その充実発展に努力されつつあることは、まことに喜ばしいことです。

1. 芦屋市における特殊学級

芦屋市における特殊学級は、昭和34年に設置のための準備を開始し、翌年の4月に山手小学校に1学級設置されたのが最初でした。

間を通して一応の完成をみたこととなります。しかし、これら対象児は、全国的な調査によれば、全児童生徒数の約3%から5%もあるといわれています。

2. 特殊教育は教育文化のパロメーター 精神薄弱児の教育の基礎には民主主義的思想つまり、すべての子どもは人間として、その能力に応じ、それぞれ適切な教育を受ける権利を

特殊学級を正しく育てるために

—その望ましいあり方—

親和女子大学教授 山本真市

ひとりひとりの子どもの人格を尊重し、その能力(可能性)を最大限に伸ばすということは、普通児と全く変わるわけがありません。

県や市の責任でもあるといえます。その意味からこの教育の実態がその国や都市の教育文化のパロメーターといわれるゆえんです。

3. 特殊教育のねらい

前述したように、精薄児の教育は、普通児の教育と異なる面があり、したがって、その教育のねらいもおのずから変わってきます。

①自己の実現…生き生きとした安定感のある生活や学習のなかで、その子なりの可能性を最大限に伸ばす。

②生活の自立…生活指導を徹底し、基本的な生活習慣を身につける。

③社会的自立…社会的経験をできるだけ多く与え、社会生活能力を伸ばし、将来職業的自立をねらう

これでわかるように、この子どもも、究極するところ、将来の生活の自立を旨とするわけですね。それで、あまり特別扱いや過保護になるのは望ましくありません。

4. 一般市民のかたがたへのお願い 以上のようなことが特殊学級設置のねらいです。今後この教育をより一層充実し、推進していくためには、学校教職員のかたがたの理解は

もちろん、広く一般市民、父兄のかたがたの深い理解を仰がねばなりません。

たとえば、勉強が少しできないからといって、なまけたりとすると、普通学級に入れてもらうか、入れてやるとかといわれると、この学級は、だめな人間の学級、「はきだめの学級」のように受けとられ、この教育は正しく育ちません。



教育のページ

一般学級児との交流で人形劇を公開(精道小学校)

「ちえんちえんって、ちんちえつでやちいのね」(歩行発音困難児)、そして、こぼれ知らな

い子どもたち、しりとりをして、何度とくり返し、くり返して、

「あゆみはおそくとも」 誰の罪でも責任でもないのに、や

一般学級児とともに学習し、生活する場をたくさん設け、実践に

社会生活をひかえて 全校生徒の理解と全職員の協力

児童展 月三十一日 会場、市民会館

参加しよう 一月八日(日) 前十七時正(午後七時)

「特殊学級」ということをお聞きになって、みなさんは、まず、

「かわいそう」とか「勉強のできない子のあつまり」とかお

「一般学級との交流」 一般学級児とともに学習し、生活する場をたくさん設け、実践に

「社会生活をひかえて」 全校生徒の理解と全職員の協力の中で、

「児童展」 月三十一日 会場、市民会館

「参加しよう」 一月八日(日) 前十七時正(午後七時)

「市立芦屋高等学校」 このほど二年生が修学旅行を終えました。

正しい理解と認識を

十年を迎えた特殊学級

「特殊学級」ということをお聞きになって、みなさんは、まず、

「一般学級との交流」 一般学級児とともに学習し、生活する場をたくさん設け、実践に

「社会生活をひかえて」 全校生徒の理解と全職員の協力の中で、

「児童展」 月三十一日 会場、市民会館

「参加しよう」 一月八日(日) 前十七時正(午後七時)

「市立芦屋高等学校」 このほど二年生が修学旅行を終えました。

「あゆみはおそくとも」 誰の罪でも責任でもないのに、や

「社会生活をひかえて」 全校生徒の理解と全職員の協力の中で、

「児童展」 月三十一日 会場、市民会館

「参加しよう」 一月八日(日) 前十七時正(午後七時)

「市立芦屋高等学校」 このほど二年生が修学旅行を終えました。

新入学生児の健康診断 来春4月から小学校に就学されるお子さまの健康診断です。

芦屋市国際文化教室 受講者募集 内外の経済情勢とわれらの生活

